

「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議

2003年度臨時総会 議事録

1. 開催概要

日時：2004年4月10日（土）14:00～17:00

場所：立教大学 太刀川記念館3F多目的ホール

参加者：団体正会員23団体、個人正会員12名（計35名）

委任状提出20団体、32名（計52件）

オブザーバー5名（うち個人準会員2名、会員団体構成員2名、監事候補1名）
（名簿別紙参照）

2. 配布資料

（事前送付資料）

- ・ 第1号議案資料 監事候補のご紹介（浅見哲氏）
- ・ 第2号議案資料 規約・細則（改定案）および役員選出規定（案）
- ・ 第3号議案資料 2004年度事業計画（案）および収支予算（案）

（当日配布資料）

- ・ ESD-J2003活動報告書
- ・ 「持続可能な開発のための教育の10年」紹介リーフレット
- ・ ESD-J2003年度決算見込み
- ・ 第3号議案差し替え資料 ESD-J2004年度予算（A案）
- ・ ESD-J中長期計画 ver.3への検討資料
- ・ 中長期計画への追加資料：エンパワメントプログラム

3. 開会・ご挨拶

冒頭、司会の大島順子副運営委員長より挨拶及び配布資料確認の後、阿部治運営委員長より開会の挨拶として、2003年設立総会からこれまでの経緯と簡単な活動紹介、2004年度にむけた課題についての報告がなされた。課題としては財政基盤の拡充や国際ネットワークの構築、会員の参画を可能にするコミュニケーションの充実、政府の取り組みを促すためのさらなる働きかけの必要性などが挙げられた。また現在イラクで起こっている人質事件に言及し、こうした仲間のことを胸に活動をしていきたいとの思いを述べた。

4. 事務局報告

村上千里事務局長より現会員数と運営委員会開催状況、2003年度決算見込みについての報告がなされた。会員数は、2003年3月末現在、団体正会員：67名、団体準会員：4名、個人正会員：68名、個人準会員：64名となっており、運営委員会は現在までに、計8回開催された（報告書 p.135「事務局カレンダー」参照）。2003年度決算見込みについては、昨年6月の当初予算では運転資金が考慮されていなかったため、第6回運営委員

会で補正予算として運転資金調達のための借入金を組み入れたこと、当初事務局経費(人件費、雑費)を各事業経費に割り振っていたが、決算見込みでは一般管理費として抽出したこと、収入の増減や借入金の借入先などについて説明がなされた。

会場より未収金についての質問があり、現在のところ会費を支払っていない人も会員資格を失っていないことが確認された。

5. 議長選出・定足数の確認議事録書名人の選出

議長は会場からの立候補・他薦を求め、事務局より若林千賀子氏(個人正会員)を推薦、賛成多数で承認された。

定足数は村上事務局長より、全正会員数 135 名のうち、本日出席者数 34 名、委任状提出者 47 名のため、定足数(全正会員数の 3 分の 1)45 名を満たしている旨、報告された(最終的に出席者数 35 名、委任状提出 52 名)。

議事録署名人は会場からの立候補を求め、事務局より伊藤通子氏(個人正会員)、中野民夫氏(個人正会員)が推薦され、承認された。

6. 議事

・第 1 号議案：監事の選任について

村上事務局長より浅見哲氏の推薦に至る経緯について、当初環境教育以外の分野で活動されている方を探してきたが、重責を担っていただける適任者を見つけることが難しく、決算を前に経理面での支援をいただける方に監事になっていただく必要性が高まったことから、浅見氏を運営委員会から推薦するに至ったとの補足説明があり、賛成多数で承認された。浅見監事より就任挨拶がおこなわれた。

・第 2 号議案：規約・細則(改定案)および役員選出規定(案)について

村上事務局長より事前に配布した資料の規約・細則改定案(配布資料)をもとに、本日の運営委員会でさらに矛盾点を整理し、修正した内容について、会場前のスクリーンに投影しながら説明がなされた。会場から監事の選出プロセスについても明記すること、任期の記述について新旧運営委員が並立する可能性のある記述を訂正すること、団体の代表権者が総会出席を代理人に委任する場合は団体の構成員に限ること、個人正会員は総会において会員以外に委任はできないこと、5ヶ月以上会費を滞納した場合は会員資格を失うという条項は 2004 年度から適用すること、運営委員は個人の資格として運営委員の責任を負うため、運営委員の代理人には議決権はないことなどについて提案・確認がなされた。

また役員選出規定(案)についても村上事務局長より説明がなされ、直前の運営委員会で、選挙管理委員は正会員とすることを追加する提案があった。

以上のような説明・質疑・議論の末、事前送付資料に対し以下の加筆・修正が行われ、賛成多数で採択された。

<規約>

【変更】第 7 条 2 . 運営委員会の指名推薦

【条文追加】第 7 条 4 . 監事は会員からの紹介を踏まえ、運営委員会が推薦する。

(以下、項を繰り下げる)

【変更】第7条4.5. 選挙による運営委員と監事は総会において選任承認する。

【条文追加】第7条8. 役員任期が満了する時点で後任が選任されていない場合は、前任者が任期満了にもかかわらず継続してその責務を果たすものとする。

【変更】第9条3. 総会は、正会員総数の3分の1以上がなければ、~~その議事を開き、議決することができない。ただし、当該議事につき書面をもってあらかじめ意志を表示した者およびの出席をもって成立する。~~他の会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。

【変更】第9条6. 3) 運営委員・監事の選任承認

<役員選出規程>

【部分追加】第4条. 選挙管理委員会の委員は、正会員の中から運営委員会が委嘱する。

【部分削除】第14条. (当選運営委員) (推薦運営委員)

【変更】第15条. 運営委員長は、改選の年の総会後に当選者新運営委員会を召集し、~~運営委員会の発足を~~確認しなければならない。

・第3号議案 2004年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

村上事務局長より2004年度事業計画(案)と、当日配布された差し替え資料2004年度収支予算(A案)について説明がなされた。事前配布予算案との違いは、2003年度の予算が人件費等を一般管理費として抽出した金額になっている点であること、さらに財政基盤強化のための予算を捻出する必要があること、今後実情に合わせて全体額及び費目間の変動する可能性があることが補足された。また阿部運営委員長から、ESD-Jはネットワーク団体として、独自に個別のESD活動を行うというのではなく、基盤整備や仕組みづくりの役割を担っていく必要があることが強調された。

会場からは、報告書の販売収入や企業からの寄付金収入を増やす努力をすること、もっと広く会員が関わっていく体制を作ることによって財政上の問題を解決していくべき、との意見があり、事業計画案及び予算案は賛成多数で承認された。

7. 今後のスケジュールの説明

村上事務局長より7月4日(日)にNPO法人設立準備総会を開催、それまでに、新運営委員選挙、定款づくりなどを行うことが説明された。また選挙管理委員について会場から立候補を募ったが、立候補者がいなかったため、役員選出規定に従い運営委員会が選挙管理委員を選任することとなった。

8. 中長期計画策定の中間報告と意見交換

組織体制プロジェクトチーム(PT)・リーダー新田和宏氏より、これまでの中長期計画案策定の経緯とその内容について説明がなされた。(ESD-J2003報告書「II-2. ESD-Jのミッションおよび中長期計画の策定(中間報告)」(p.30-)参照)

その後、「ESD-J中長期計画 Ver.3への検討資料」のC. Ver.3「前期プログラム」について以下の通り各PTリーダーより説明がなされた。

国内実施計画策定プログラム：政策提言PTリーダー 池田満之氏

国内ネットワーク形成プログラム：地域ネットワークPTリーダー代理 松本恵氏

情報共有プログラム：情報提供 PT リーダー 小栗有子氏

国際ネットワークプログラム：国際ネットワーク PT リーダー 大島順子氏

(地域 ESD 実施計画策定プログラム、 ESD 評価プログラムは 2004 年度中に検討・確定する。)

また、この枠組みを超える活動提案として、運営委員の森良氏よりエンパワメントプログラムが提案された。

会場と PT リーダーの意見交換から、

- ・ 地域のエンパワメントについては、ESD - J としてどこまで踏み込むべきであるか議論する必要がある
- ・ ESD-J としてどのような国際ネットワークを作っていくのか、そのためにどのようなシステムが必要なのか、翻訳体制などを整え、中長期的な視野を持って考えていく必要がある
- ・ 教育基本法の見直しについても視野に入れる
- ・ 海外からの受信については国際 PT で担う
- ・ まず会員がこれらの事業に関わっていく体制にするべきである
- ・ 仲間内の言葉で話し合うだけでは、外部の人々に何をやっているのか伝わらない。わかりやすいサブタイトルやキャッチフレーズが必要
- ・ ESD を「エスド」ではなく「イー・エス・ディー」と読むなどの表記も必要
- ・ 一般の人に ESD を普及していくための出前講座なり WS なりが必要。来年開催される愛知万博なども活用することも検討していく

などの点が確認された。

9 . 閉会

17:30、予定より 30 分超過の末、司会の大島副運営委員長より閉会が宣言された。

2004 年 4 月 18 日

以上、この議事録が正確であることを証します。

議 長 若林 千賀子 印

議事録署名人 中野 民夫 印

議事録署名人 伊藤 通子 印